

町長2期目の集大成の年に

雄武町長 中川原 秀樹

新年明けましておめでとうござい
ます。町民の皆さまにおかれまして
は、清々しい新春をお迎えのこと
お慶び申し上げます。また、日頃か
ら町政に対し、ご理解とご協力を賜
り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、国際情勢
では日本の外交や安全にも大きな影
響がある史上初の米朝首脳会談の
実現、国内では日本人のノーベル
医学生理学賞受賞、北海道では命名
150年記念行事の実施、スポーツ
界では平昌オリンピックやサッカー
ワールドカップロシア大会での日本
人の活躍など、嬉しい話題がたくさ
んありました。

一方で、平成30年の漢字が「災」
となったように、国内では大規模な
自然災害も発生しました。西日本を
中心に大きな被害をもたらした「平
成30年7月豪雨」、北海道で史上初の
震度7を記録した「平成30年北海道
胆振東部地震」など、昨年は大規模
な災害が発生した年として記憶に残
る年となってしまいました。

特に胆振東部地震については、比
較的災害が少ないと考えられていた
北海道で発生したものであります。
ここ数年、雄武町では幸いなことに
人的被害を伴う災害の発生はありま
せんが、自然災害については、いつ
どこで起こり得るか予測ができない
ということをご改めて認識したとこ
ろであります。

また、胆振東部地震については、
雄武町においても停電が発生し、そ
れに伴い電話も一時不通になるなど、
生活にも大きな影響を及ぼす事態と
なりました。今後、同様の事案が発
生した際には、この経験を生かして
対応していくとともに、各種災害時
における減災対策についても万全を
期してまいります。

さて、昨年の町内産業の状況であ
ります。農業において、生乳につい
ては、協業法人の設立や離農により、
搾乳戸数は48戸に減少しましたが、
経営規模拡大の効果もあって、過去
最高を記録した昨年度の生産量、生
産額を上回っています。牧草につい
ては、残念ながら6月から7月にか
けての長雨等の影響により収穫が遅
れ、デントコーンについても長雨や
生育後期の干ばつによる天候不順に
より、減収となっております。

漁業は、主要魚種の一つでありま
すホタテ貝が計画を上回り、4年ぶ
りに1万5千トンを超える漁獲量と
なったものの、毛ガニは、計画量の
4割しか獲れず、2年続けて不漁と
なったサケにつきましても、過去3
年間で最低の漁獲量となっております。
漁獲金額については、平成26年12
月の低気圧被害から、ホタテ貝が全
体的に回復したことなどから、全体
的に前年を下回る魚価となり、計画
を下回っています。

関連する水産加工業では、昨なが

らホタテ貝が回復傾向
にあり、毛ガニやサケの
不漁を補う安定的な原料確
保が期待されますので、
早期の経営安定化が図られることを切
に願っています。

本年は、町長として任期2期目の最終年を
迎え、2期目にあたって政策理念として掲げ
ました「人口減少危機を総力で打開するまち
づくり」の実現のための集大成を迎える大切
な年でもあります。人口減少対策には特効薬は
ありませんが、「地域産業の成長による所得
向上と雇用創出」、「出産・子育てと高齢者の
夢を叶える大胆な経済支援」、「観光と文化・
健康スポーツの拠点づくり」という3つの重
要政策のもと、これまでも数々の施策に精力
的に取り組んでまいりました。本年について
は集大成の年でありますので、愛する雄武町
の明るい未来のために、これまで以上に大胆
かつ強固に各種施策を進めてまいれる所存であ
ります。

併せて、町行政の最上位計画であります第
6期雄武町総合計画に基づき、人口減少対策
はもろろんのこと、長期的な視点に立った適
切かつ効率的な行財政運営の確立も進めてま
いります。

また、今年は亥年でありますので、2期目
の集大成のため「猪突猛進」してまいります
ので、町民の皆さまのなお一層のご理解とご
協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を
心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶
といたします。

たくましく優しい町で暮らす

雄武町議会議員 橋詰 啓史

平成31年の新しい年が明けました。
町民の皆さまにおかれましては、穏
やかに新年をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。また、旧年中
は町議会に對しまして、深いご理解
と温かいご支援ご協力を賜り、厚く
御礼申し上げます。

本年は、天皇陛下のご退位と皇太
子殿下のご即位に伴い年号も平成か
ら新しい年号に変わります。すべて
の人々がおだやかで幸せが感じられ
る時代になるように願うばかりです。

昨年を振り返りますと災害の多い
年でした。1月中旬から北陸・関東
甲信越地方や山陰、その後は日本海
側および函館や十勝地方ほか道内各
地で記録的な低温と大雪に見舞われ
ました。夏以降には7月から9月の
間に、次々と5個の台風による集中
豪雨で各地が観測史上最大の雨量が
記録されるなど沖繩から北海道まで
日本全国に大きな被害を受けていま
す。さらに9月6日早朝に発生した

「北海道胆振東部地震」は北海道で初
めて観測された震度7という強い地
震で、土砂崩れによる人的な被害の
他に液状化現象と全道全域停電が発

生し、雄武町も1日から1日半程停
電しました。

さて、産業面での雄武町の昨年は、
農業は法人化や離農などにより搾乳
戸数は減少しましたが、生乳生産額・
個体販売額ともに順調に増加してお
ります。

また、国の事業による「国営緊急
農地再編事業雄武丘陵地区」の整備
工事も2年目を迎え順調に進捗して
おり、完成後は広大な牧草地での大
型機械による、良質な牧草の効率的
な収穫に大きな期待を寄せています。

一方、漁業は毛ガニ漁が記録的な不
漁、鮭定置網漁も、水揚げ量・金額
とも前年を大きく下回りました。

一方、ホタテ漁は27年からの不漁
以来4年ぶりに待望の1万5千トン
を超える漁に回復したことは、私共
としても安堵しています。しかし、
ブリなどの水揚げが多くなることで
海水温の上昇傾向に起因するのであ
れば、メジカ・雄宝など雄武本来の
ブランド魚種の漁獲量が懸念されま
す。将来に向けて、他のナマコ・タ
コやウニ・昆布などの豊富な水産資
源を活用するための増養殖など、雄

武町独自の足腰の強い漁業振興に期待してい
ます。

我が国は、毎年台風の影響を受けてきた国
です。先人達は毎年収穫期に豪雨や暴風によ
る被害を受けても、隣人同士助け合いながら
力強く復興してきたたくましい人々が永く歴
史を作ってきた国民です。私達の体には、そ
の相互扶助・助け合いの精神が宿っていると
思います。少子化・高齢化が進行する現在で
すが、子育て支援・高齢者福祉政策、産業振
興政策のほか、雄武町の情報発信などに町民・
議会・行政が相互に連携・協力して魅力的な
雄武町を創生していかなければなりません。

本年は、4年ごとの統一地方選挙の年にあ
たります。私達議会議員は気持ちを新たに改
選に臨む年を迎えました。昨年の補欠選挙に
おいて1人の新人議員が加わり現在欠員1人
という現状ですが、是非とも定数10人での議
会運営が出来るようにしたいと考えています。

本年も、議会に對し、より一層のご理解と
ご支援をお願い申し上げますと
もに、町民の皆さまにとりま
して、より良い一年になり
ますよう心からご祈念
申し上げます、年頭のご挨拶
といたします。

雄武町長と雄武町議会議員が語る

今年の誓い

